

平成 22 年 10 月 25 日

公開シンポジウム「新たな歯科医療制度を考える」の開催について

下記により、日本学術会議 歯学委員会 歯科医療制度に関する検討分科会主催の公開シンポジウム「新たな歯科医療制度を考える」を開催します。関係者の皆様の多数のご参加をお待ち致しております。

日本学術会議歯学委員会
歯科医療制度に関する検討分科会
委員長 古谷野 潔

記

日 時：平成 22 年 12 月 17 日（金）13:00-16:30

場 所：日本学術会議 講堂

開催趣旨：

我が国は近年、若年者層におけるう蝕の著しい減少がみられる一方、超高齢社会を迎え、要介護者や寝たきり老人、重度の全身疾患を有する患者の増加等、歯科医療を求める患者層および疾病構造が大きく変化しつつあり、また今後も大きく変化することが予想される。こうした歯科医療に対する社会のニーズの著しい変化に対応するためには、今後歯科医療は大きく変わることが求められている。また近年の歯科医療の発展に伴い、新しい治療法、治療用材料・機器が開発され、歯科医療は年々多様化、高度化している。今後、これらの多様化、高度化した治療を国民に効率的に供給する体制を構築するかについても検討する必要がある。今回、本シンポジウムにおいて、こうした社会の歯科医療に対するニーズの変化、疾病構造の変化を明らかにし、新しい歯科医療制度について検討する。

シンポジウム次第

○主催者側挨拶 渡邊 誠（日本学術会議会員、歯学委員会委員長）

○趣旨と進行の説明

座長： 戸塚靖則（北海道大学大学院教授、学術会議会員）

古谷野潔（九州大学大学院教授、学術会議連携会員）

○講演

1. 歯科保健医療の動向と今後の方向性等について

九州歯科大学教授 日高勝美先生

2. 医療経済学から見た歯科界の現状と課題
東京医科歯科大学大学院医療経済学分野教授 川渕孝一先生
3. 歯科医療：医療との共通点と特異性
昭和大学教授 岡野友宏先生
4. 超高齢社会における歯科疾病構造の変化と求められる歯科医療
元岡山大学歯学部長 渡邊達男先生
5. 病院歯科における歯科医療の展開と問題点
医療法人尚寿会大生病院 歯科口腔外科部長 阪口英夫先生
6. 今後の歯科医療において求められる専門医制度
九州大学大学院教授 古谷野潔

○質疑と討論

○閉会の挨拶 戸塚靖則（日本学術会議会員、北海道大学大学院教授）